

よく分かる検査値の見方 part. 2 (臓器別)

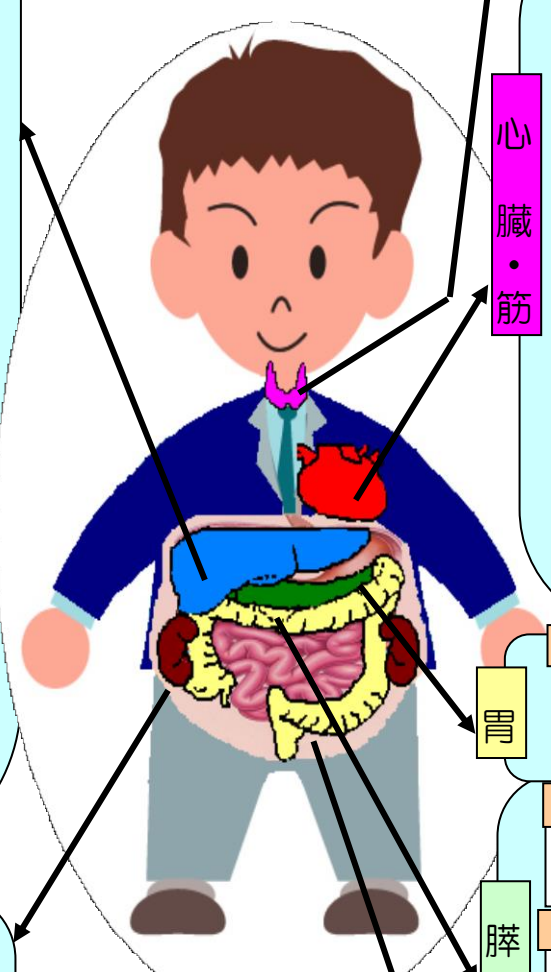
基準値とは、検査結果の「ものさし」で、検査方法や測定機械により異なります。患者様が結果をご覧になれるとき、基準値はあくまでもひとつの「めやす」とお考え下さい。またそれぞれの臨床的意義も、どのような目的の検査であるかという「めやす」とお考え下さい。検査成績は、身体症状やその他の検査成績から医師が総合的に判断します。検査結果の詳細は主治医にご相談ください。

肝臓・胆管

- AST(アスパラギン酸 アミノ基転移酵素)** 【基準値】 13-33 IU/L
肝臓、骨格筋、心筋、赤血球中に存在する酵素です。代表的な肝機能検査ですが、筋肉、心筋、溶血性疾患でも上昇します。
- ALT(アラニンアミノ基転移酵素)** 【基準値】 8-42 IU/L
主として肝臓に存在する酵素です。代表的な肝機能検査です。
- LDH(乳酸脱水素酵素)** 【基準値】 119-229 IU/L
全身の組織や臓器に分布する酵素です。肝臓、心臓、筋肉、血液疾患等で上昇します。
- ALP(アルカリフォスファターゼ)** 【基準値】 115-359 IU/L
肝臓、骨、小腸、胎盤などに存在する酵素です。主に肝機能、骨疾患の指標となります。
- GGT(γ グルタミルトランスぺプチターゼ)** 【基準値】 15-70 IU/L
肝・胆道疾患で上昇します。アルコール性肝障害や薬剤性肝障害でも上昇します。
- T-BIL(総ビリルビン)** 【基準値】 0.3-1.2 mg/dL
主にヘモグロビンの代謝産物です。肝・胆道系疾患や溶血性疾患の指標となります。
- CHE(コリンエステラーゼ)** 【基準値】 168-470 IU/L
肝臓のはたらき具合をみることができます。
- LAP(ロイシンアミノペプチターゼ)** 【基準値】 30-80 IU/L
胆道系酵素の一つで、黄疸の鑑別、肝、胆道系疾患の診断および経過観察に用いられています。
- D-BIL(直接ビリルビン)** 【基準値】 0.0-0.3 mg/dL
肝臓で処理されたビリルビンです。肝細胞の障害や胆管閉塞で上昇します。

腎

- BUN(尿素窒素)** 【基準値】 8 - 22 mg/dL
蛋白質の最終産物で、腎臓から排泄されます。腎機能の指標となります。
- CRE(クレアチニン)** 【基準値】 M 0.60-1.10 mg/dL F 0.40-0.70 mg/dL
腎機能の指標。腎臓の濾過機能によって左右されます。
- UA(尿酸)** 【基準値】 M 3.6-7.0 mg/dL F 2.3-7.0 mg/dL
痛風の原因となる物質で、高値になれば腎障害・尿路結石の原因にもなります。



M : 男性
F : 女性

甲状腺

- TSH(甲状腺刺激ホルモン)** 【基準値】 0.35-4.94 μIU/ml
下垂体から分泌されるホルモンで甲状腺ホルモンの分泌を刺激します。
- FT3(遊離トリヨードサイロニン)** 【FT3 基準値】 1.71-3.71 pg/ml
- FT4(遊離サイロキシン)** 【FT4 基準値】 0.70-1.48 ng/dl
バセドウ氏病や橋本病の診断や治療の効果をみるために測定します。

心臓・筋

- CK(クレアチンキナーゼ)** 【基準値】 M 62-287 IU/L F 45-163 IU/L
心筋、骨格筋、脳の中に含まれる酵素で細胞の損傷で血液中に出てきます。心筋梗塞の障害の程度がわかります。運動後など筋肉が疲労したときにも高くなります。
- CK-MB(クレアチンキナーゼMB分画)** 【基準値】 0.0-14.0 IU/L
CKのうち心筋に由来するもので、心筋梗塞などのときに心臓の障害の程度がわかります。
- 高感度トロポニン I** 【基準値】 26.0未満 pg/ml
心筋に含まれ、筋収縮の調整にかかわっている蛋白質の事。心筋に障害が起きた時にだけ血中に出てくるので、心筋梗塞の診断マーカーとして使われています。
- ミオグロビン** 【基準値】 M 76以下 ng/ml F 64以下 ng/ml
体を動かす筋肉や心臓の筋肉細胞に多く含まれており、これらの筋肉が障害を受けると上昇します。
- BNP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)** 【基準値】 18.4以下 pg/ml
主に心室から分泌されるホルモンで心臓の負荷が増えたり心筋の肥大が起こると増加します。

胃

- 尿素呼気試験** 【基準値】 陰性
胃や十二指腸潰瘍の原因となる胃の中のピロリ菌の有無を調べる検査で、内視鏡を使用しない検査です。検査薬を1錠服用し、服用前後の呼気を集めて診断します。

膵臓

- AMY(アミラーゼ)** 【基準値】 40-126 IU/L
主に膵臓や唾液腺より分泌される消化酵素です。急性膵炎や耳下腺炎等で上昇します。
- AMY-P(アミラーゼ P型)** 【基準値】 20-65 IU/L
主に膵臓より分泌される消化酵素です。
- LIPASE(リパーゼ)** 【基準値】 12-50 IU/L
脂肪の消化を行う酵素であり、血清中のリパーゼは膵臓から分泌されます。特に、膵炎の急性発作の診断と経過観察に利用されます。

腸

- 便潜血免疫法 便中ヘモグロビン** 【基準値】 100未満 ng/ml
便中の血液反応(ヘモグロビン)を調べることにより大腸がんなどの大腸出血(主に下部消化管出血)の診断に広く用いられています。